新市を迎えて

新村上市誕生

平成二十年四月一日、(新)村上市は誕生した。(旧)村上市が五町村の合併により誕生して以来五十三年が経ち、今度は広域五市町村が一つの屋根となって圏域住民を支え合おうとしているのです。楽では有りませんが、大変な時代を親子、兄弟姉妹が知恵を出し合い努力して同じ屋根の下で暮らして行くのが合併だと思って下さい。行政は市長を先頭に市民の努力と期待を裏切らぬよう、出来る事出来ない事、過去の悪い事は悪い事、これから我慢する事は我慢する事として市民に示し、良い事は率先して進めて行く気概と決意を持って行政サービスや事業に当たらなければ為りません。市議会議員にはそれを見届け質す責任があります。そして市民の皆さんには市議会を監視する責任があるのです。村上市行政を監視するのは村上市議会ですが、村上市議会を監視出来るのは村上市民の皆さんです。

新村上市議会議員選挙に惜敗

平成二十年四月一日、合併新村上市が誕生し（旧）五市町村長及び市町村議会議員は失職した。それにより四月二十七日、村上市長選挙、村上市議会議員選挙が同日執行された。選挙区が広くなり皆、初めての選挙で一生懸命に運動したと思います。市長選挙は三人が名乗りを上げ、大滝平正氏が当選し、初代村上市長に就任しました。市議会議員選挙は定数三十名に対し五十一人が立候補した。私も五十一歳、働き盛りを自負して立候補しましたが、皆さんの期待を裏切り結果は三十一番と次点になり落選でした。八百七十一人の方よりご支持頂きましたが私の努力不足で皆さんの大切な一票を無駄にさせてしまいました。私は親戚の居る朝日地区と神林地区の一部、荒川・山北地区の親戚とお世話になっている方、後は村上地区に決めて運動していた。選挙運動は当初から立候補予定者が多く選挙区も広いため、極力他の候補と重なり迷惑を掛けぬようなどと甘く考え油断していました。私の選挙の師匠が云う「選挙は足で稼げ」、当り前だと分かっていながら怠っていたのです。この度の結果は私自身の甘さ、油断から来た不徳のせいで、今まで支えて頂いた同級生を始め友人達、恩師、先輩の皆さん、上町並びに近隣の皆さん、後援会の皆さん、そして事ある毎にお世話になって来た親戚の皆さん本当にご迷惑をお掛けしました。また小田和則、板垣浩両氏、本間清・直美ご夫妻にはこの度の選挙戦、最後まで見届けて頂き感謝しております。四年後、五十五歳になってまだ皆さんのお役に立てる能力と自分自身の環境が整うならば再度挑戦させて頂きたいと思っております。